

公共交通再編検討業務委託における 実態調査報告

| 見出し | 頁 |
|--------------------------------|----|
| 1. 実施した調査について | 1 |
| 1-1. 調査概要 | 1 |
| 1-2. サンプル数 | 1 |
| 2. 調査結果分析 | 2 |
| 2-1. 結果まとめ(全体の傾向) | 2 |
| 2-2. 結果まとめ(路線ごとの整理) | 3 |
| 2-3. 自主運行路線乗降調査 | 4 |
| 2-4. 停留所(事業者運行路線)ヒアリング調査 | 9 |
| 2-5. 駅利用者(鉄道)ヒアリング調査 | 13 |
| 2-6. 高校生アンケート調査 | 16 |

令和5年9月

1. 実施した調査について

1-1. 調査概要

| 項目 | 調査手法 | 調査対象 | 調査目的 |
|------------------------------------|----------------------|---|--|
| (1) 自主運行路線 乗降調査 | 乗り込み調査 (ビンゴカード形式) | ・自主運行路線 21路線 ・単独維持困難 1路線 (C54 修善寺駅～湯ヶ島) | 利用ニーズと乖離のあるバス路線 (区間、時間帯)の特定 利用における実態および改善すべき サービスの把握 |
| (2) 停留所 (事業者運行路線) ヒアリング調査 | ヒアリング調査 | ・(1)以外の事業者運行路線 【調査場所】 修善寺駅、修善寺温泉、 湯ヶ島、土肥温泉 | |
| (3) 駅利用者(鉄道) ヒアリング調査 | ヒアリング調査 | ・鉄道利用者 【調査場所】 修善寺駅構内 | 利用における実態および鉄道の改善 すべきサービスの把握 市民・観光客の公共交通への転換可 能性と条件の把握 |
| (4) 高校生 アンケート調査 | 郵送配布・回収 (Web 回答可) | ・市内在住の高校生 (H17.4.2～H20.4.1 生まれの 方)603人 | 公共交通の利用実態 公共交通を利用しない理由と利用する ための条件の把握等 |

1-2. サンプル数

| | |
|----------------|-------------------------------|
| (1)自主運行路線乗降調査 | 1,209 票 (平日 961 票 / 休日 248 票) |
| (2)停留所ヒアリング調査 | 398 票 (平日 190 票 / 休日 208 票) |
| (3)駅利用者ヒアリング調査 | 286 票 (平日 152 票 / 休日 134 票) |
| (4)高校生アンケート調査 | 270 票 (回収率 44.8%) |

2. 調査結果分析

2-1. 結果まとめ(全体の傾向)

(1) 自主運行路線乗降調査

■アンケート結果

○平日と休日で利用実態が異なる。

- ・主な利用は、平日は通学利用、休日は40～64歳の買物・観光利用
- ・平日、中伊豆方面は高齢者による通院利用が他の路線と比較して多い

○通学以外が主体の系統は3路線。

- ・C59(修善寺駅～湯ヶ島温泉)＝買物利用
- ・C74(修善寺駅～中伊豆温泉病院)＝通勤20%、通院15% 65歳以上は全体の約3割
- ・I41(修善寺駅～伊東駅)＝通院15%、通勤12% 65歳以上は全体の約3割

○「運行本数」への不満が多い。

- ・改善して欲しいサービス「運行本数」が多く、運行本数が少ない路線でその傾向が強い

■利用区間調査結果

○区間による利用の差が大きい。

- ・距離の長い路線では、主に修善寺駅側・学校最寄り停留所までに利用が集中
- ・末端部が長い路線では見直しの検討が必要

○利用が極端に少ない系統は2路線。

- ・C62(修善寺駅～柿木循環)
- ・C73(下尾野口～沢口)

(2) 停留所(事業者運行路線)ヒアリング調査

○平日と休日で利用実態が異なる。

- ・事業者運行路線は、休日の観光利用が顕著
- ・土肥温泉では、平日は主に土肥地区の通学利用がみられる

○県外居住者の利用が多い。

- ・観光利用が主体の休日では、各停留所ともに東京・神奈川など県外居住者の利用が多い
- ・修善寺駅では約半数が鉄道からの乗継利用

○「運行本数」「運行時間帯」への不満が多い。

- ・自主運行路線と同様に、「運行本数」「運行時間帯」で不満度が高く改善が求められる

(3) 駅利用者(鉄道)ヒアリング調査

○観光利用が鉄道の主となる。

- ・修善寺駅からの鉄道利用は平日・休日ともに「観光」目的が主で、次に「通学」

○鉄道の利便性に課題がある。

- ・「所要時間」に対する不満度が他項目と比べて多く、速達性に課題がみられる
- ・自由回答ではICカード決済の導入要望が多い

(4) 高校生アンケート調査

○遠距離通学でバス利用が多い。

- ・高校生の通学では路線バス利用が3割程度、高校までの距離別では「20 km以上」において3割が路線バス利用となっている

○公共交通への転換可能性がある。

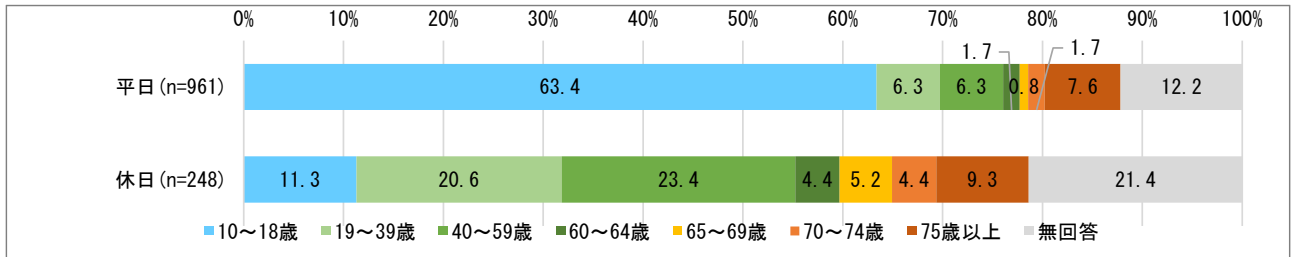
- ・路線バスを利用しない方の理由では「車(家族等の送迎)で移動するから」が24.5%で最多であるが、全体の3割程度がサービス改善により公共交通への転換可能性を示している

2-3. 自主運行路線乗降調査

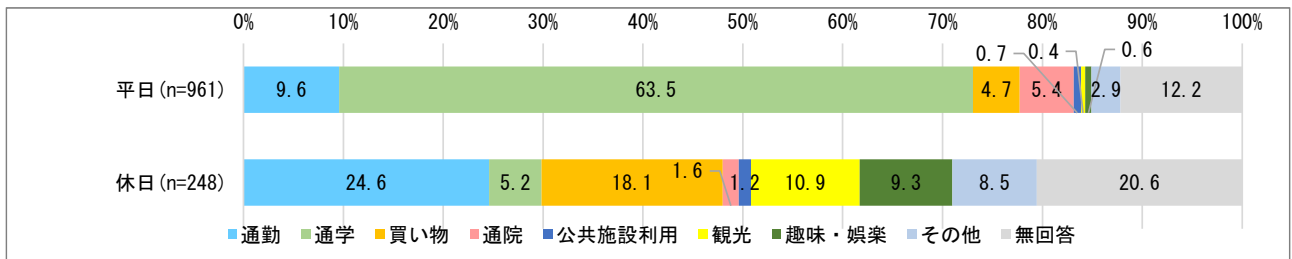
■平日/休日別・全路線の利用特性

- ・平日は「10～18歳」・「通学」利用が最多で、居住地も「伊豆市内」が多数となっている
- ・休日では「40～64歳」で44.0%を占め、「買い物」、「観光」利用が増えている
- ・乗継状況では「修善寺駅で鉄道に乗継」「修善寺駅で他のバスに乗継」が休日の方が多い

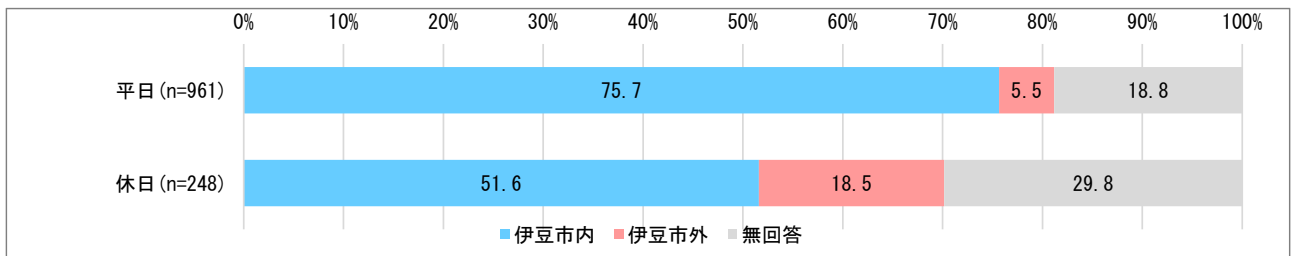
(1) 年齢



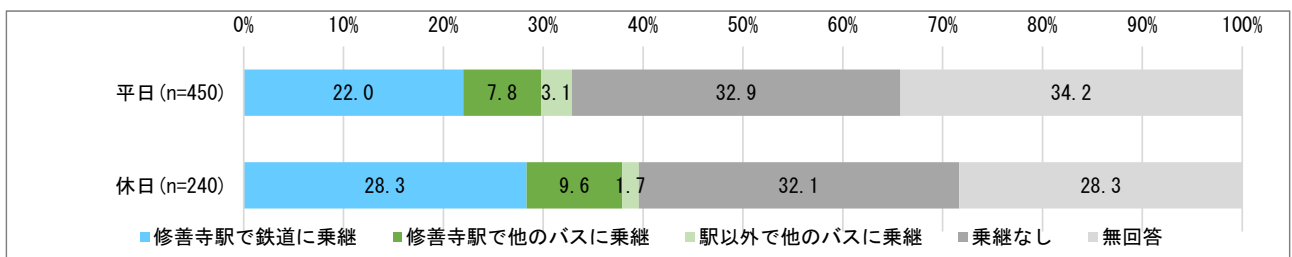
(2) 利用目的



(3) 居住地



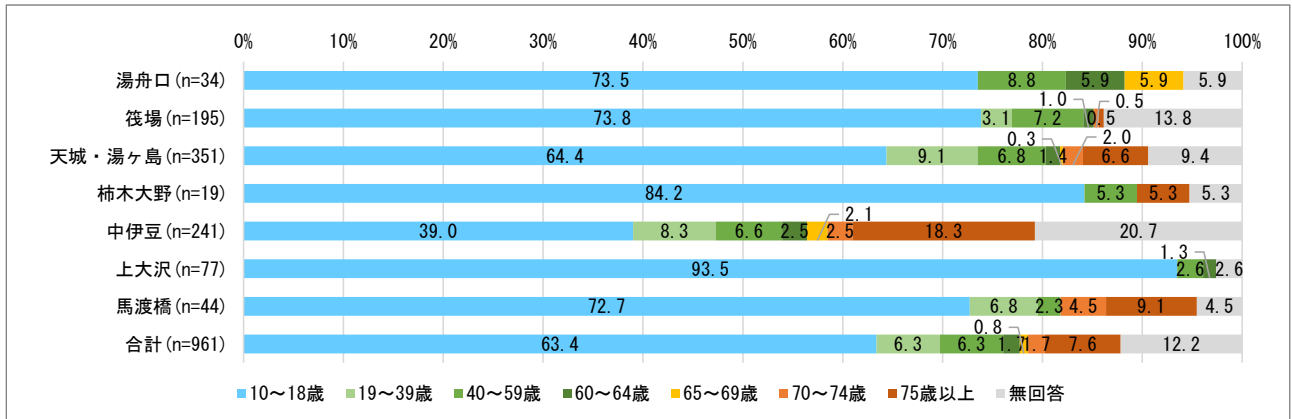
(4) 乗継状況(小・中学生除く)



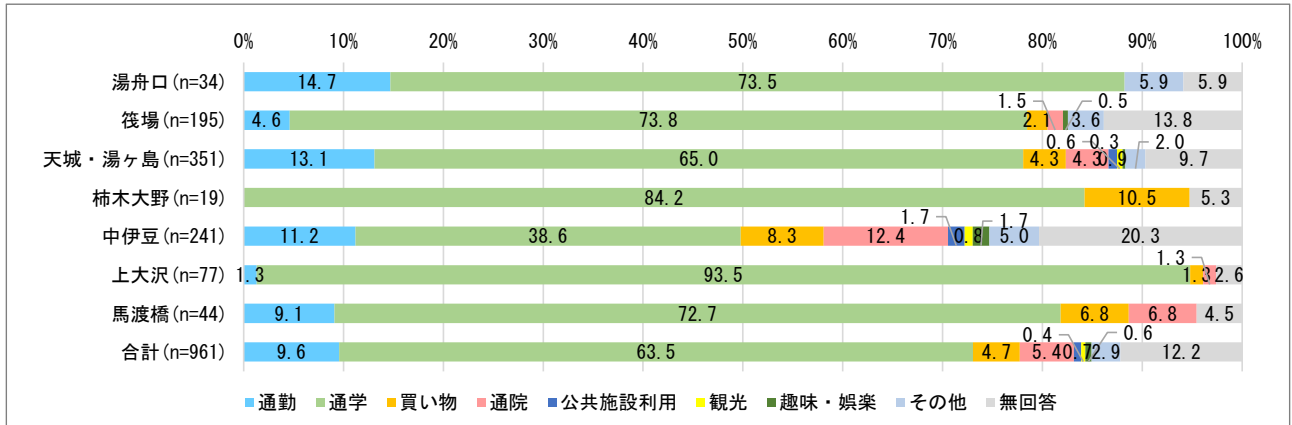
■路線別利用特性(平日)

- ・全路線で、年齢は「10～18歳」が、利用目的は「通学利用」が最多となっている。
- ・中伊豆方面では「通院」利用が12.4%で、他路線と比較して多い
- ・居住地では中伊豆方面で「伊豆市外」が14.1%
(I41 修善寺駅～伊東駅では、18.4%が「伊豆市外」となっている)

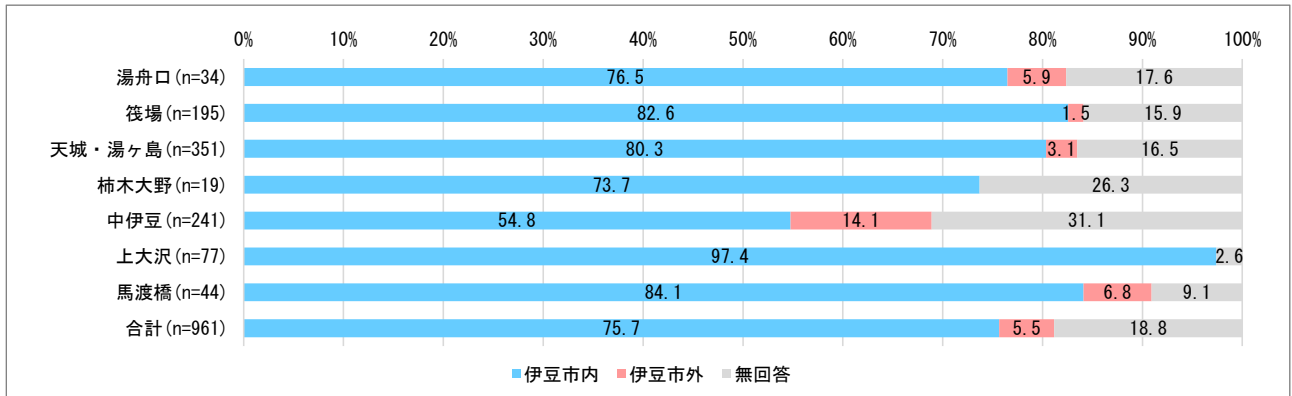
(1)年齢



(2)利用目的



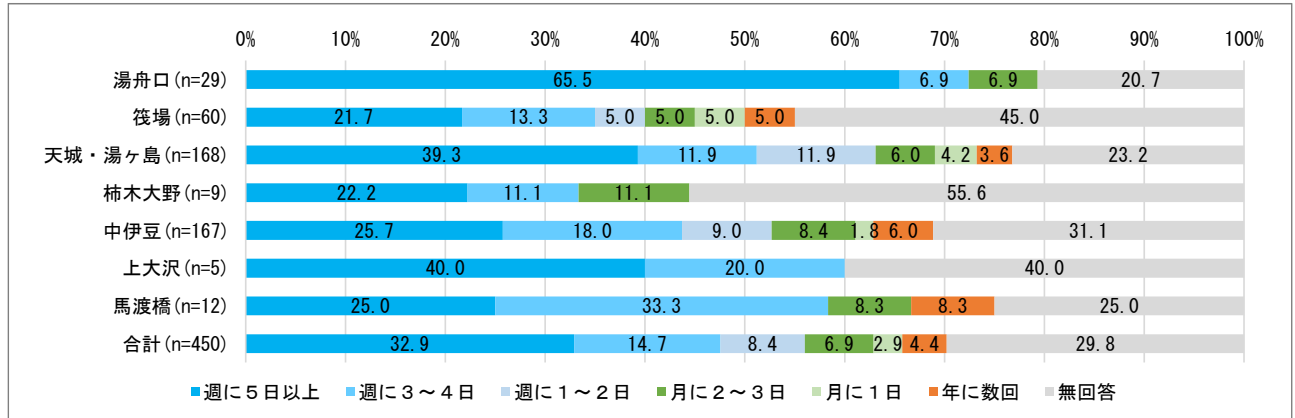
(3)居住地



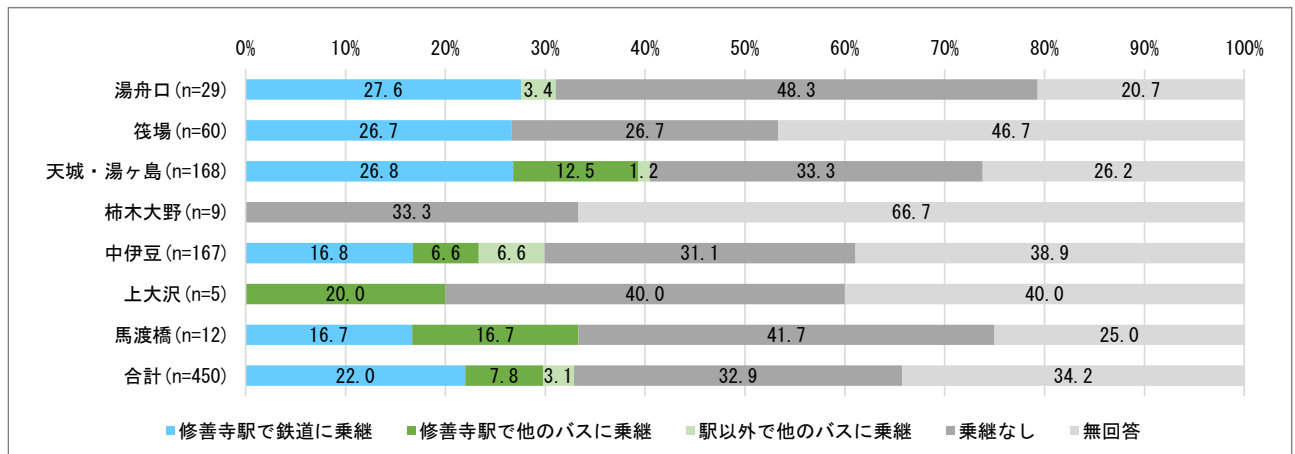
(小・中学生を除く)

- ・「週に1日以上」の利用が最も多いのは湯舟口方面、次点が天城・湯ヶ島方面
- ・乗継状況では全体の22.0%が鉄道に乗継利用、7.8%が修善寺駅でバス乗継利用
- ・運行サービスの満足度では全体の46.6%が「満足」「やや満足」に回答

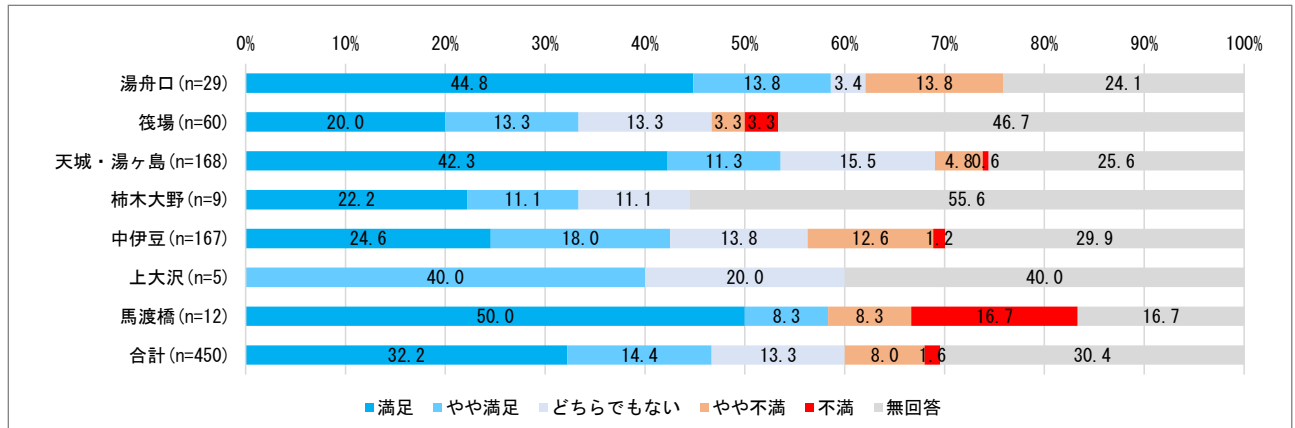
(4) 利用頻度(小・中学生除く)



(5) 乗継状況(小・中学生除く)



(6) 運行サービスの満足度(小・中学生除く)

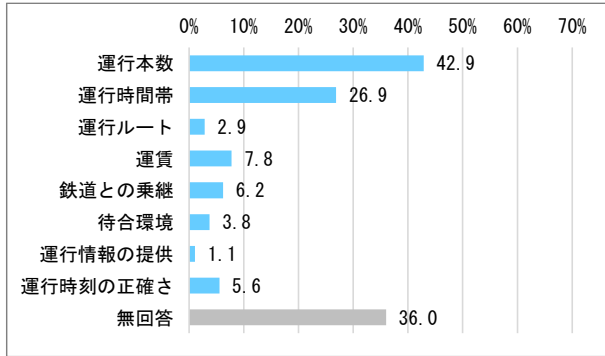


(小・中学生を除く)

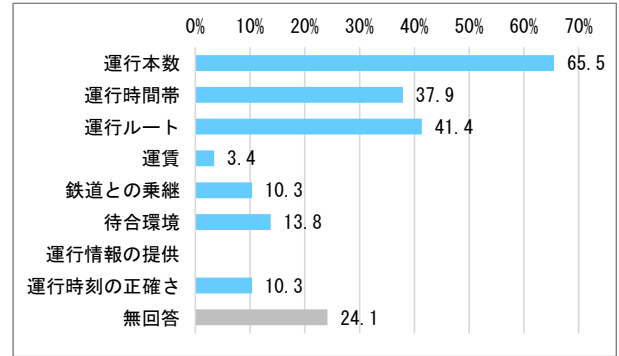
- ・各路線「運行本数」への改善要望が最多となっている(サンプル数の少ない⑦を除く)
- ・湯船口方面は「運行ルート」への改善要望が他路線と比較して極めて多くなっている

(7)改善して欲しいサービス(複数回答)(小・中学生除く)

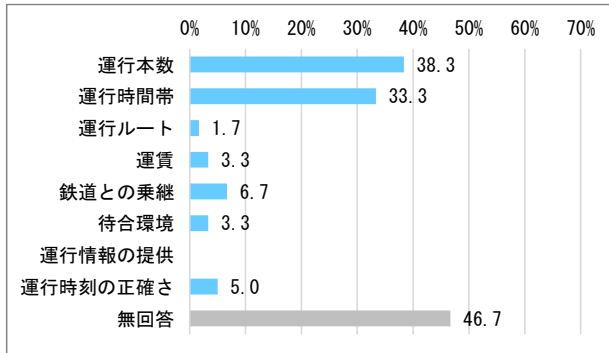
①全体(n=450)



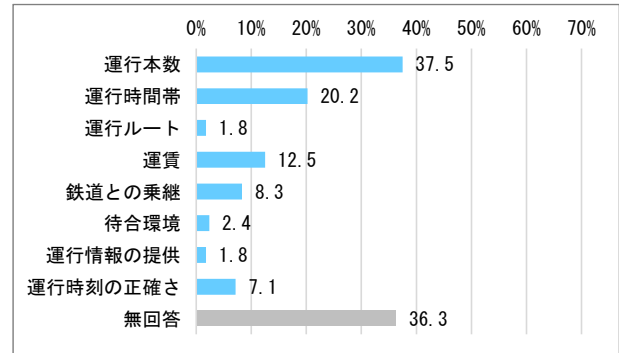
②湯船口(n=29)



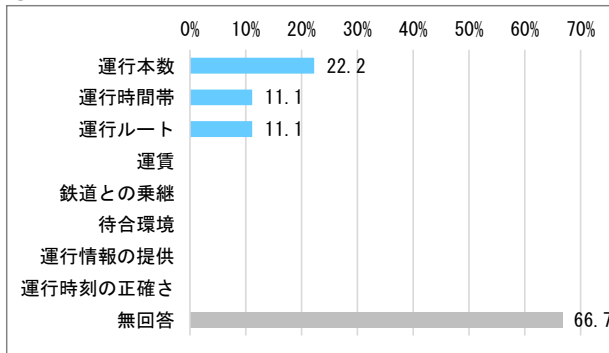
③筏場(n=60)



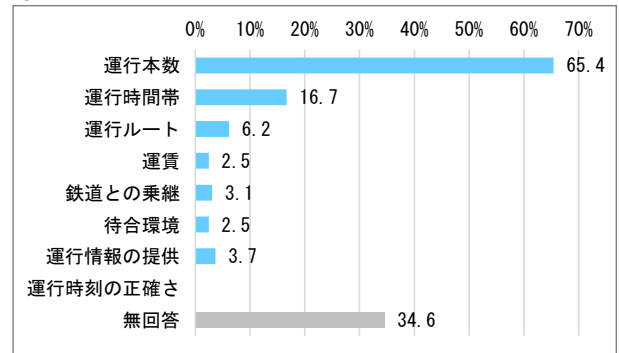
④天城・湯ヶ島(n=168)



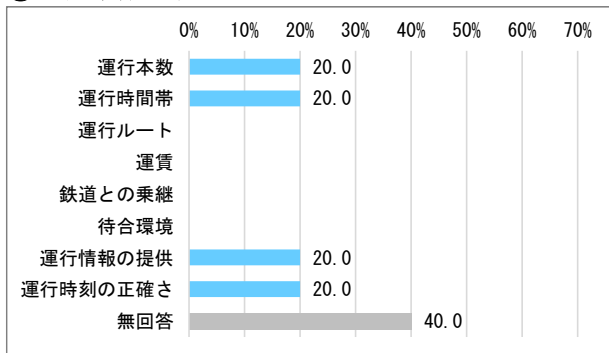
⑤柿木大野(n=9)



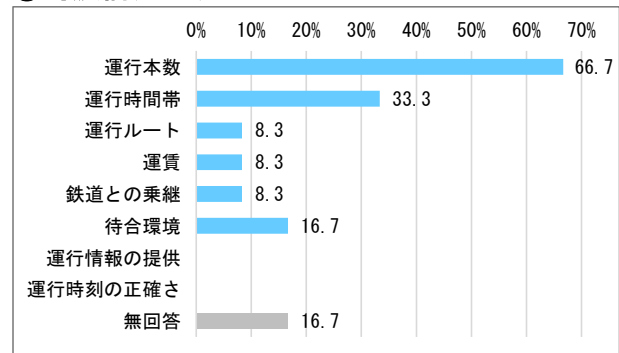
⑥中伊豆(n=162)



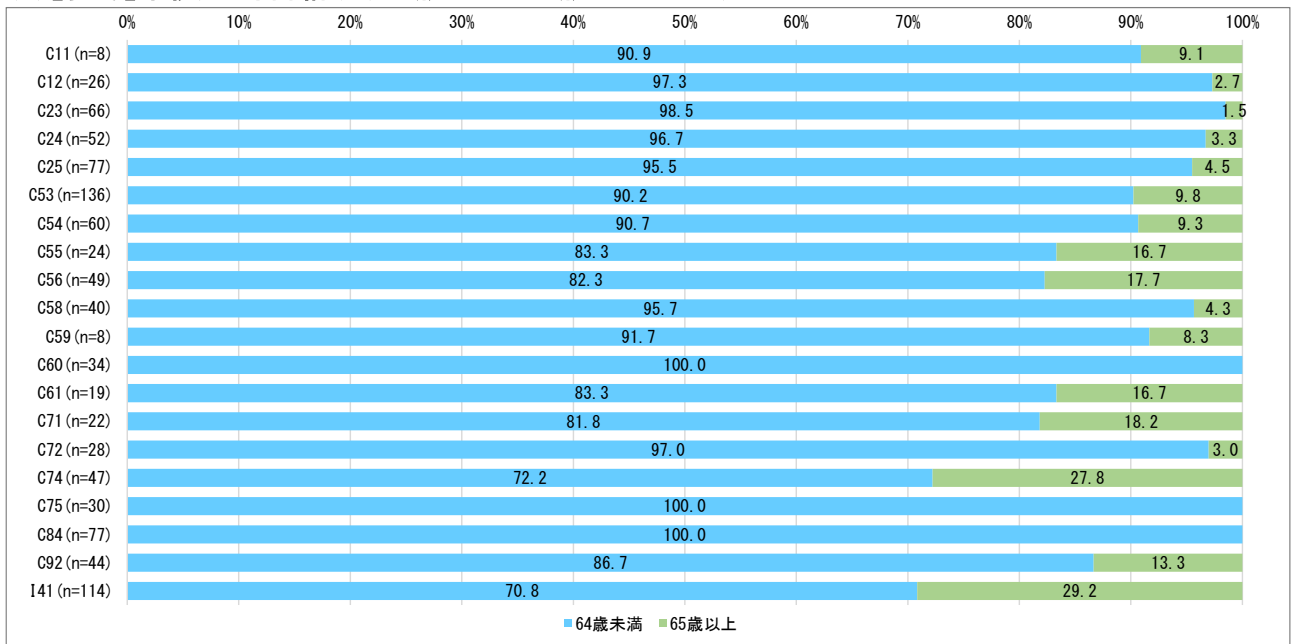
⑦上大沢(n=5)



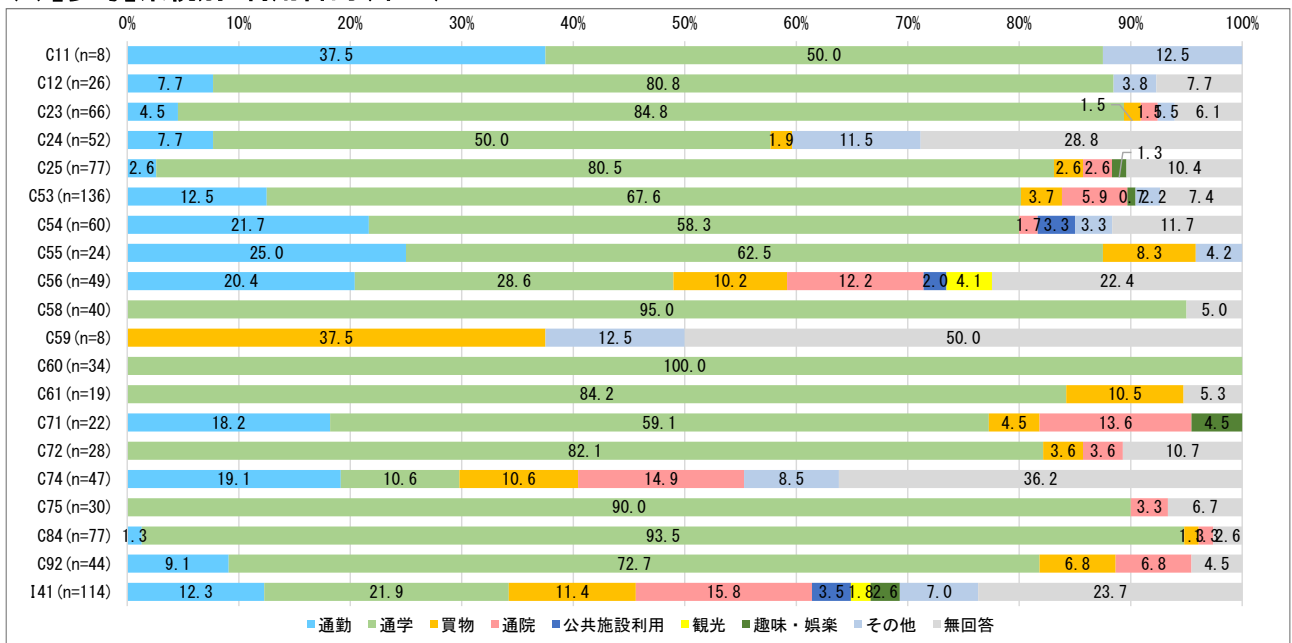
⑧馬渡橋(n=12)



(8)【参考】系統別・年齢構成(65歳未満/65歳以上・平日)



(9)【参考】系統別・利用目的(平日)



(10)【参考】利用の多い停留所(平日・伊豆市内のみ)

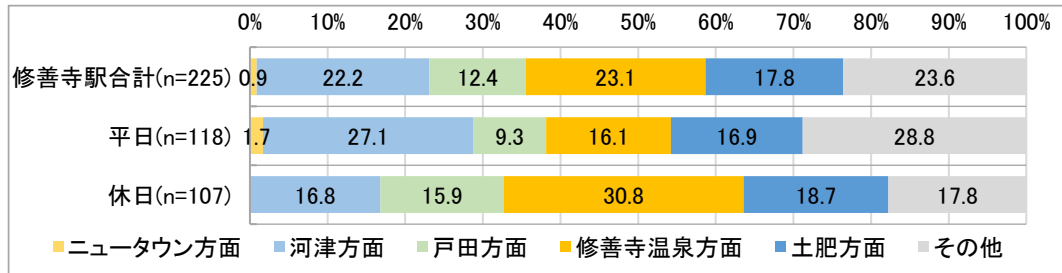
| 乗車数の多い停留所 (上位10位) | | 降車数の多い停留所 (上位10位) | |
|-------------------|------|-------------------|------|
| 停留所名 | 利用者数 | 停留所名 | 利用者数 |
| 修善寺駅 | 207 | 修善寺駅 | 246 |
| 中伊豆小学校 | 52 | 中伊豆小学校 | 60 |
| 八幡 | 50 | 天城小学校 | 56 |
| 天城小学校 | 48 | 月ヶ瀬中 | 48 |
| 月ヶ瀬中 | 31 | 八幡 | 42 |
| 白岩 | 26 | 白岩 | 23 |
| 沖の原南 | 16 | 湯ヶ島 | 20 |
| 沖の原北 | 15 | 中伊豆温泉病院 | 19 |
| 柿木橋、上和田橋、中伊豆温泉病院 | 14 | 湯ヶ島温泉口 | 14 |
| 佐野川端、湯ヶ島 | 13 | 出口、上和田橋、冷川 | 12 |

2-4. 停留所(事業者運行路線)ヒアリング調査

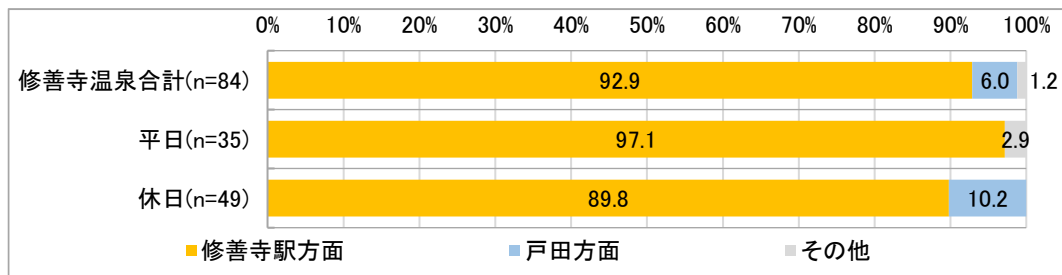
■停留所別・利用の行先

- ・修善寺駅は、平日では「河津方面」が最多、休日は「修善寺温泉方面」が最多
- ・修善寺温泉、土肥温泉、湯ヶ島はそれぞれ平休共に「修善寺駅方面」が最多

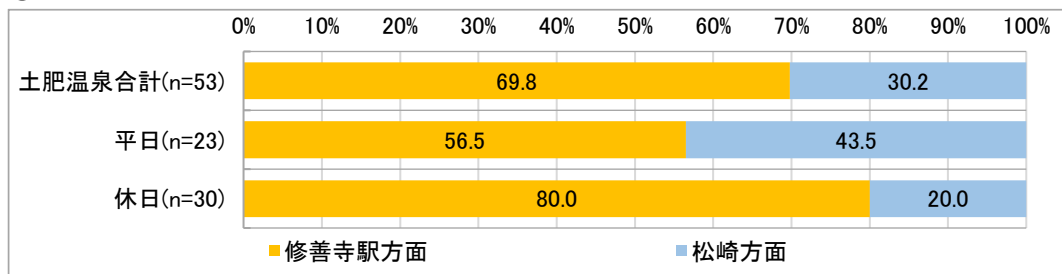
①修善寺駅



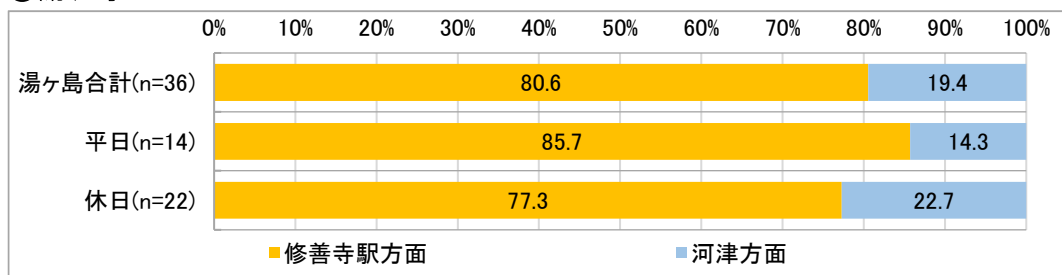
②修善寺温泉



③土肥温泉



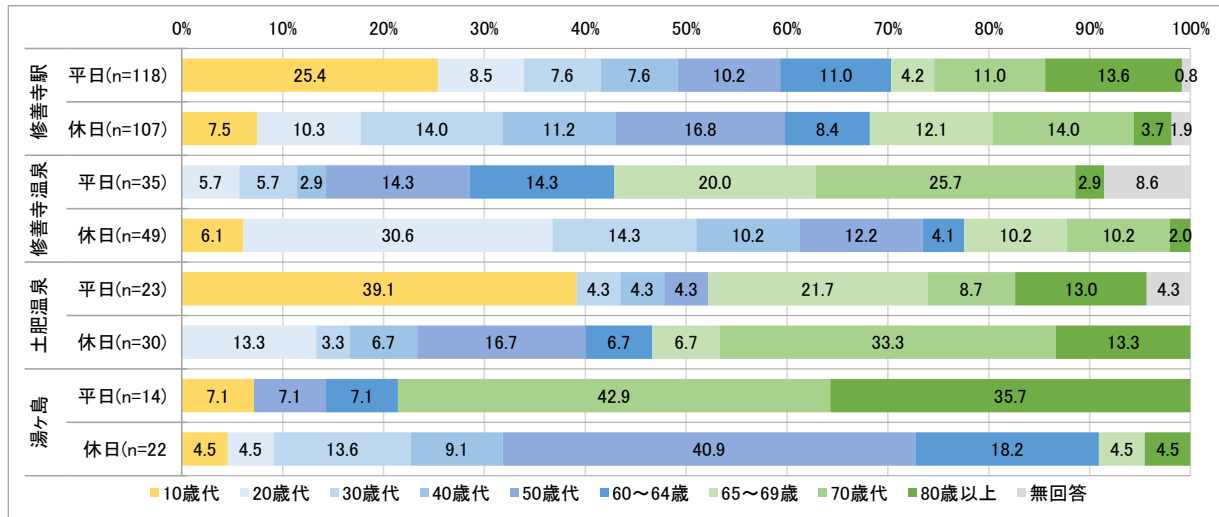
④湯ヶ島



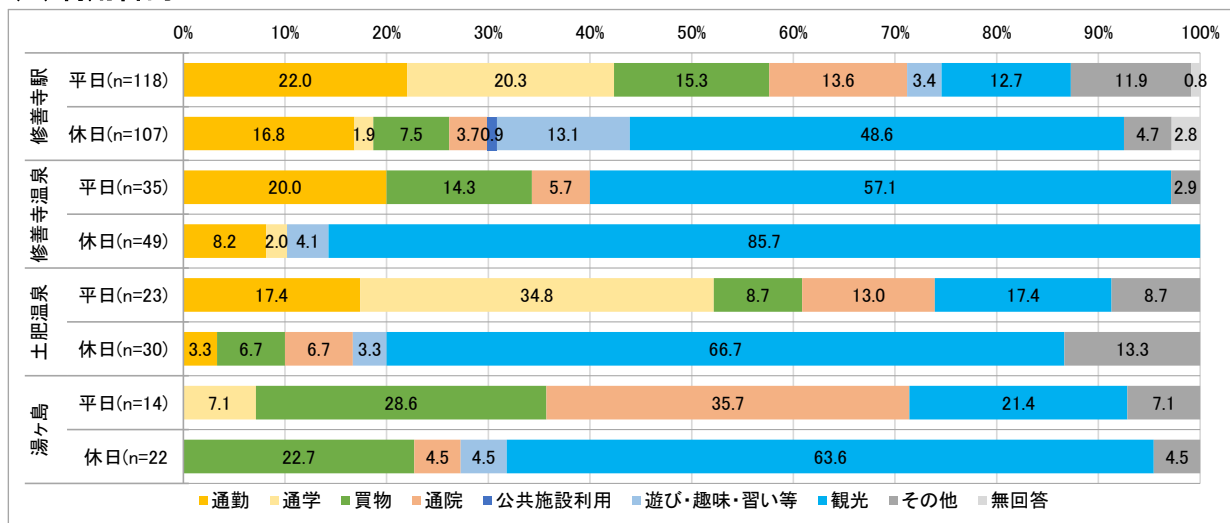
■ 停留所別・利用特性(平日/休日)

- ・年齢は各停留所平日/休日の差が大きく、修善寺温泉と湯ヶ島では休日に高齢者が少ない
- ・利用目的では各停留所とも休日における「観光」の利用が最多
- ・居住地は休日では市外からの利用が多くなり、「神奈川県」「東京都」の割合が高い

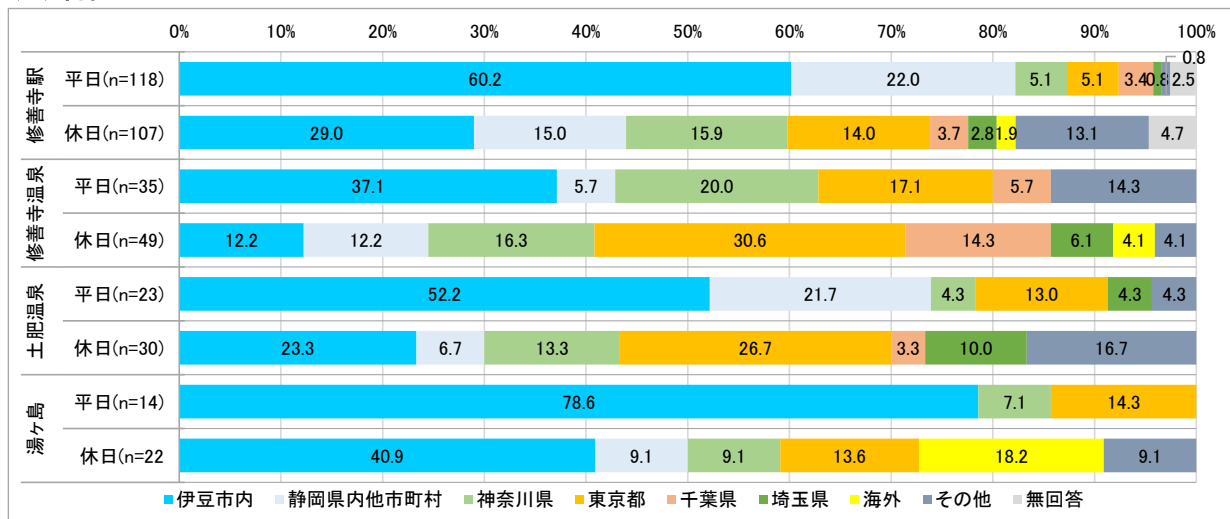
(1) 年齢



(2) 利用目的

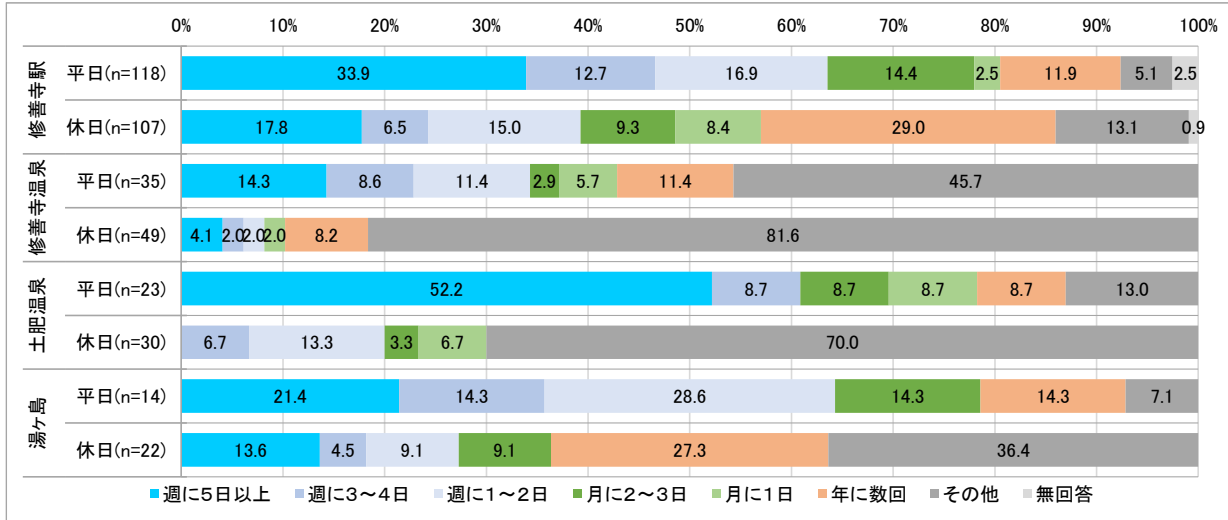


(3) 居住地

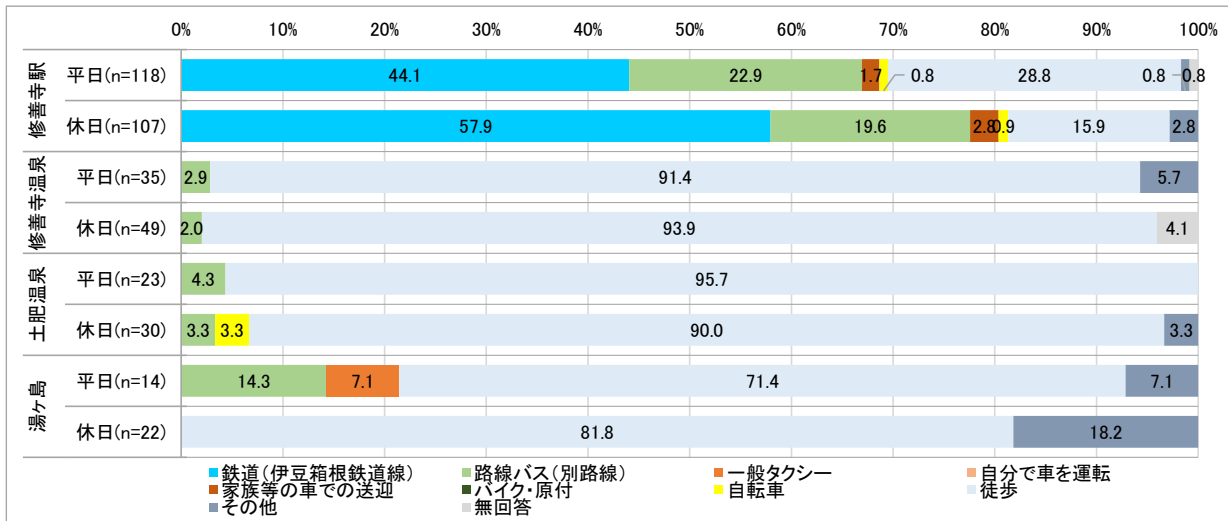


- ・利用頻度は平日が高く、休日における「その他」は「初めて」「2回目」等が多数となっている
- ・鉄道駅の修善寺駅では半数前後が鉄道からの乗継利用、湯ヶ島の「その他(5件)」については、ホテル等の送迎が4件
- ・満足度は「満足」「やや満足」でどの項目においても 50%超である一方、「運行本数」「運行時間帯」で不満度が高い傾向

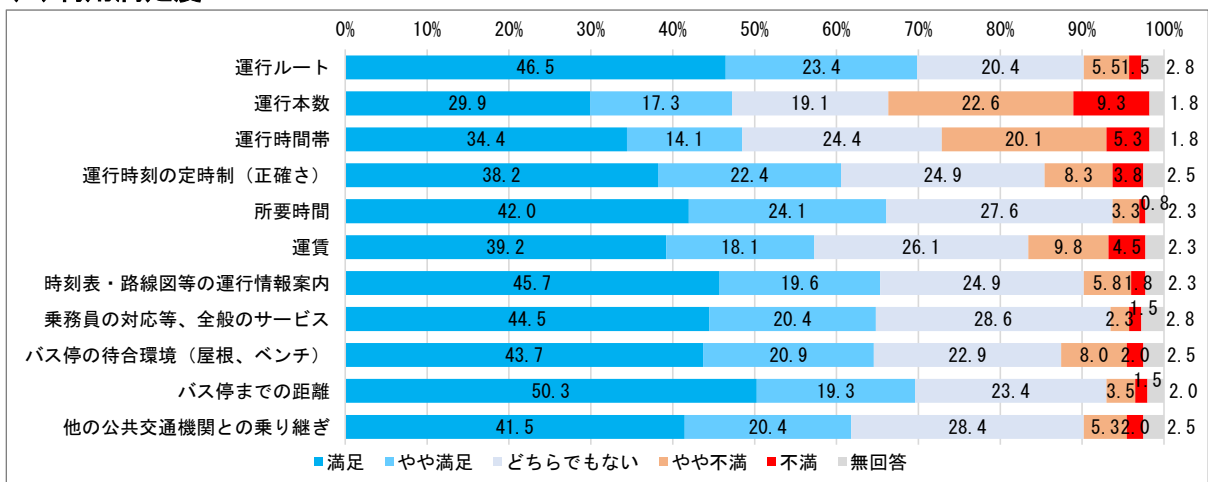
(4) 利用頻度



(5) バス停までの交通手段



(6) 利用満足度



(7) 主な自由意見(抜粋)

運行本数に関する意見(n=17)

- ・このバス(修善寺温泉)は本数はあるけど中伊豆は本数が少なく乗り継ぎが大変
- ・バスの本数が少なくて困っています。これ以上少なくなるととても困ります。
- ・沼津駅からの本数を増やして頂ければ。戸田から沼津行きの本数も増やして頂ければ！
- ・バスの大きさを小さくしてよいので昼の本数を増やして欲しい

バス停設備等に関する意見(n=7)

- ・案内板ですが、このバス停で降りたらどこに行けるということも案内してほしい
- ・バス停のベンチとか屋根がこわれていたり、なかったりするのでちゃんとしてほしい。
- ・バス停にゴミが目立つ

鉄道に関する意見(n=6)

- ・伊豆箱根鉄道は Suica などが使えないので、利用できると良い。
- ・伊豆箱根鉄道は、三島から修善寺に着くまで時間が掛かりすぎる

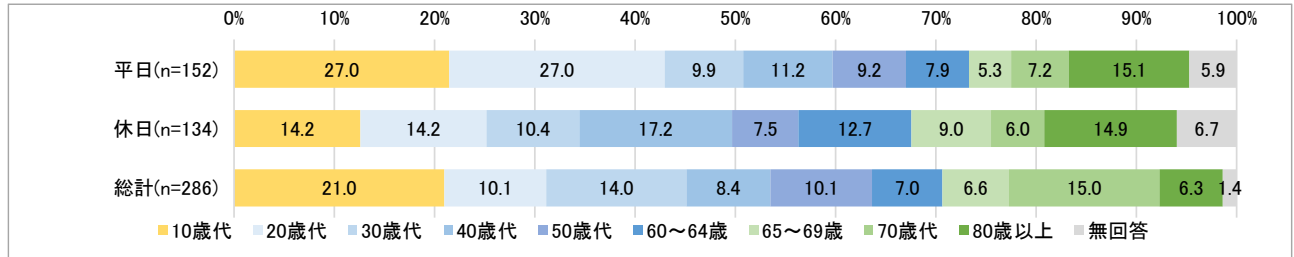
運行時間帯に関する意見(n=3)

- ・14 時台のバスを通して欲しい(土肥温泉)
- ・21 時少し過ぎまであったらいいと思う(修善寺温泉)

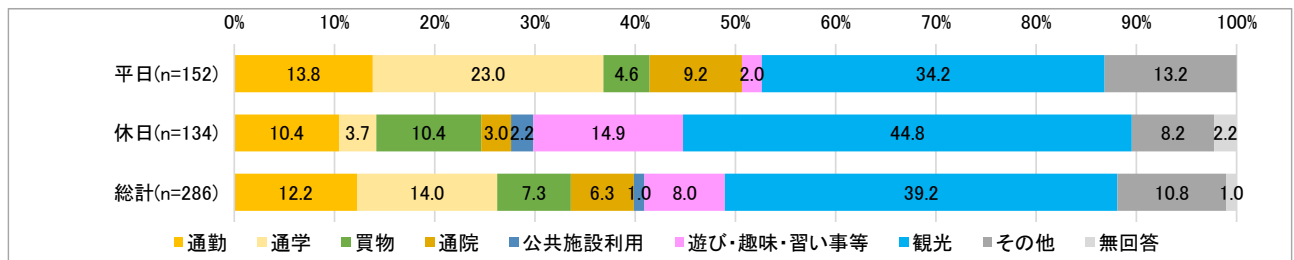
2-5. 駅利用者(鉄道)ヒアリング調査

- ・年齢は平日/休日の差が小さい
- ・利用目的は平日/休日ともに「観光」が最多、平日は次点が「通学」
- ・居住地は「伊豆市内」の次に、休日で「東京都」「静岡県内他市町村」「神奈川県」が多い
- ・利用頻度は平日でも「週に1日以上」が50%未満

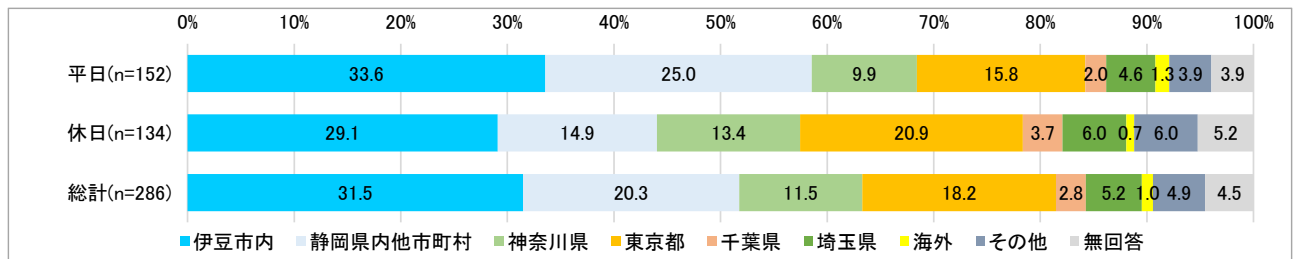
(1) 年齢



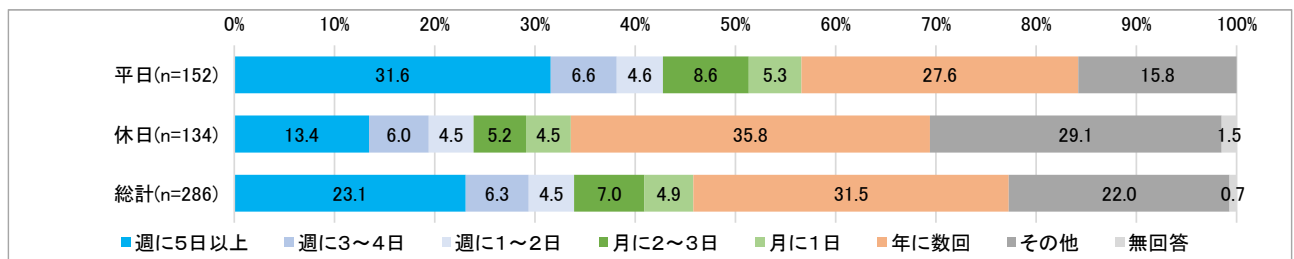
(2) 利用目的



(3) 居住地

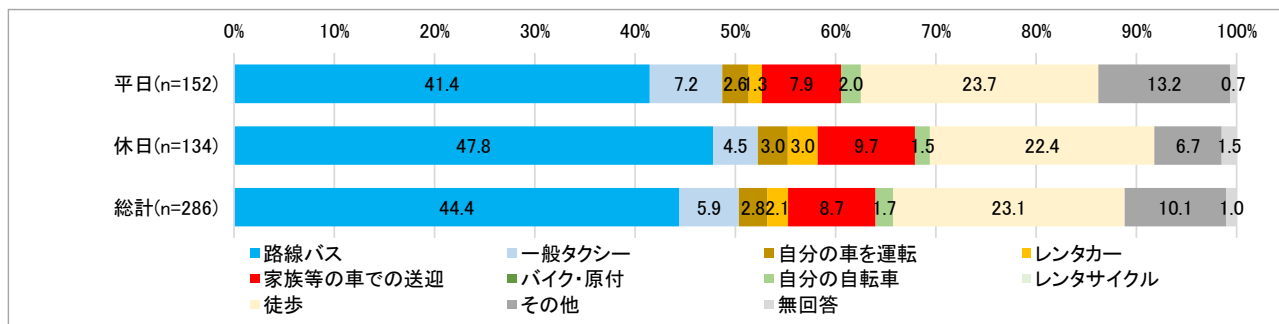


(4) 利用頻度

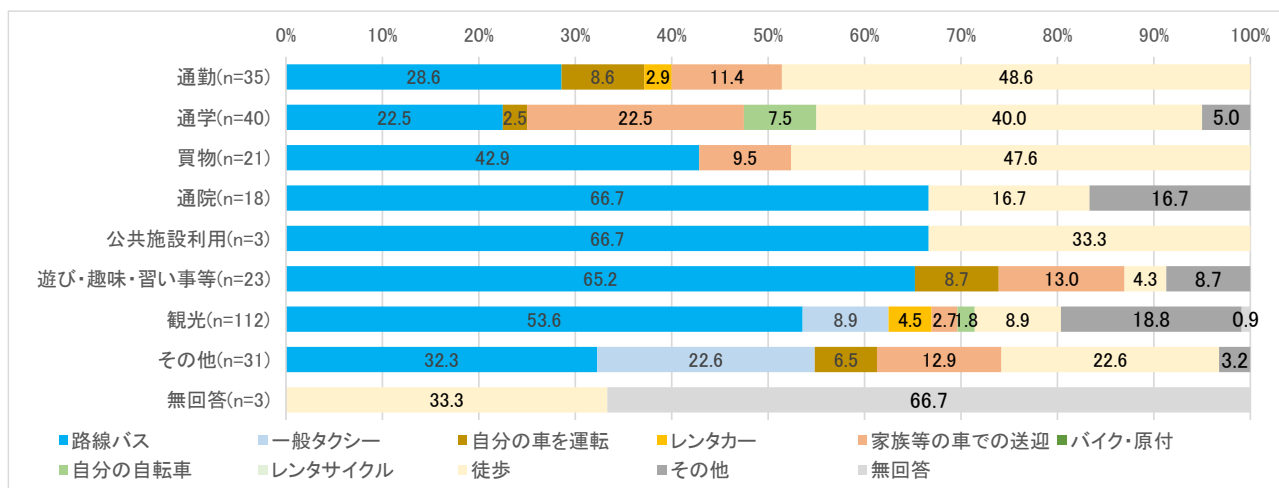


- ・駅までの交通手段は平日/休日とも「路線バス」が最多、次点が「徒歩」
- ・「通院」「公共施設利用」「遊び・趣味・習い事等」「観光」において鉄道から路線バスへの乗り継ぎが半数程度
- ・利用満足度は各項目において「満足」「やや満足」が 50%超、「所要時間」では「やや不満」「不満」が 22.0%と他の項目より高い

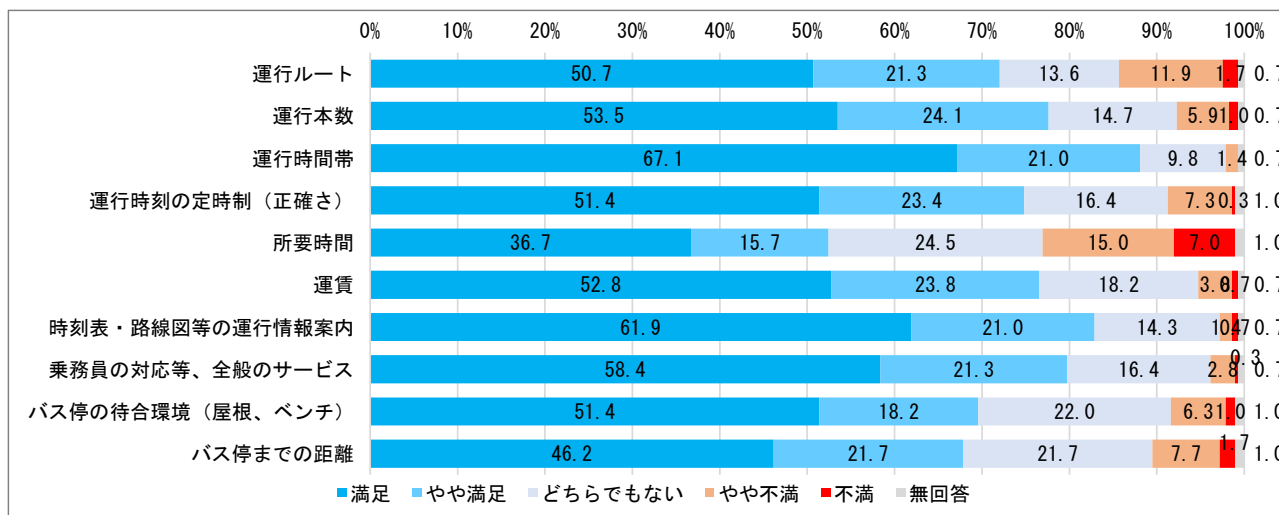
(5) 駅までの交通手段



(6) 利用目的別・駅までの交通手段



(7) 利用満足度



(8) 主な自由意見(抜粋)

決済手段に関する意見(n=27)

- ・ICカードを使えるようにしてほしい。三島、沼津などの乗り換えが非常に不便。
- ・修善寺駅の改札での精算が面倒でした。ICカードの普及をお願いしたい。
- ・IC化、定期購入の際、カード(クレジット)が使えるようになったらうれしい。

路線バスに関する意見(n=21)

- ・駅おりてから、温泉への行き方がわかりにくい(情報、バスの本数、定期的な運行なし)
- ・バスの運行、少なくなり残念です。高齢の為、バスは便利なので他の手段も考えて。
- ・バスに関して本数が少ないのは仕方ないが、各時間まんべんなく配置してほしい。

運賃に関する意見(n=10)

- ・運賃が高い。通学定期は値下げしてほしい。
- ・運賃を下げてほしい。
- ・定期代が高い。もう少し安くしてほしい。

三島駅での乗換に関する意見(n=7)

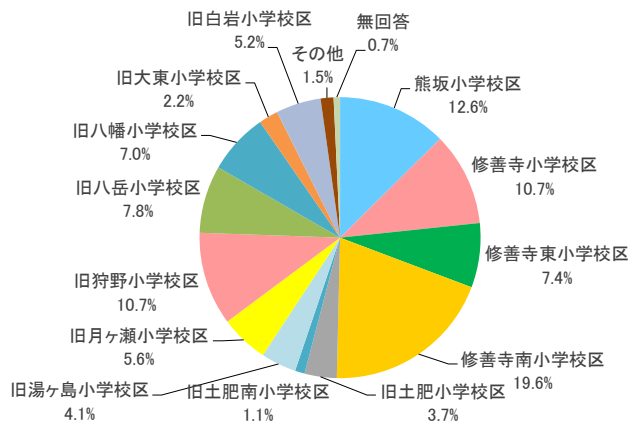
- ・三島駅での乗り換えをなんとかしてほしい。
- ・三島乗り換え、ICなく不便。

2-6.高校生アンケート調査

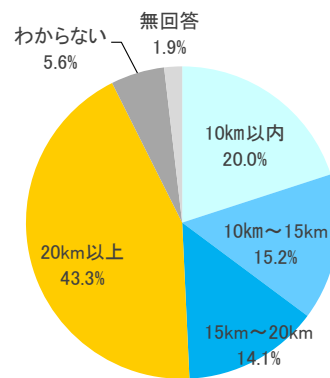
■全体の利用状況

- ・自宅から高校までの距離が「20 km以上」の学生が 43.3%
- ・全体の約3割が伊豆市内で路線バスを利用
- ・雨天時は車(家族等の送迎)利用割合が増加し、公共交通機関(鉄道・路線バス)は減少
- ・修善寺駅から離れた地域ほど路線バス利用が多い傾向

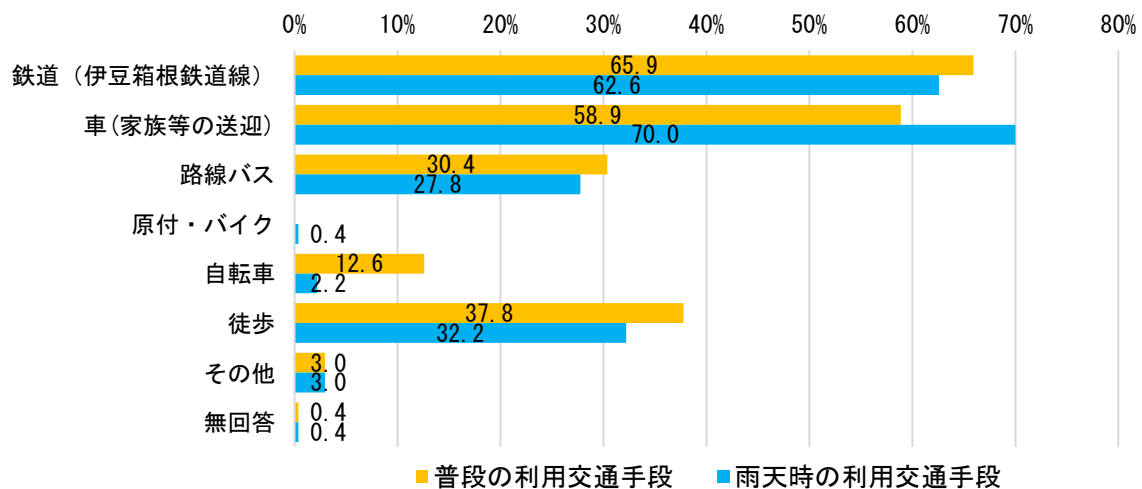
(1)お住まい(n=270)



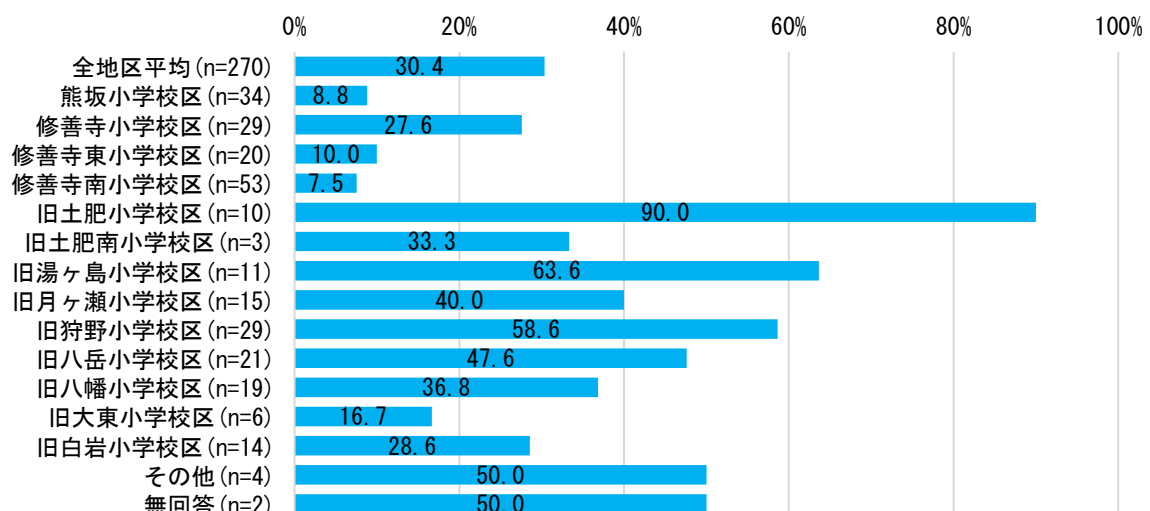
(2)自宅から高校までの距離(n=270)



(3)伊豆市内の通学利用手段(n=270・該当するすべて選択可)



(4)普段の伊豆市内の通学利用手段 お住まい別・路線バス利用割合
(n=270・回答に「路線バス」を含む方の割合)

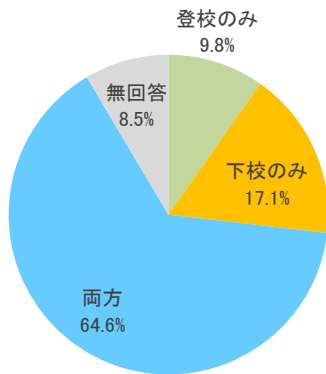


■路線バス利用者の利用状況

- ・路線バス利用者の内6割超が往復利用、往復利用しない理由は「登校(下校)時間と合わないから」が40.9%、「車(家族等の送迎で移動するから)」が31.8%
- ・路線バス利用者の45.1%が通学定期券を購入
- ・バスを利用しない日は「車(家族等の送迎)」での移動が75.6%
- ・「運行ルート」に対する満足度(満足+やや満足)は6割超、一方で「運行本数」と「運行時間帯」の不満足(不満+やや不満)は7割超

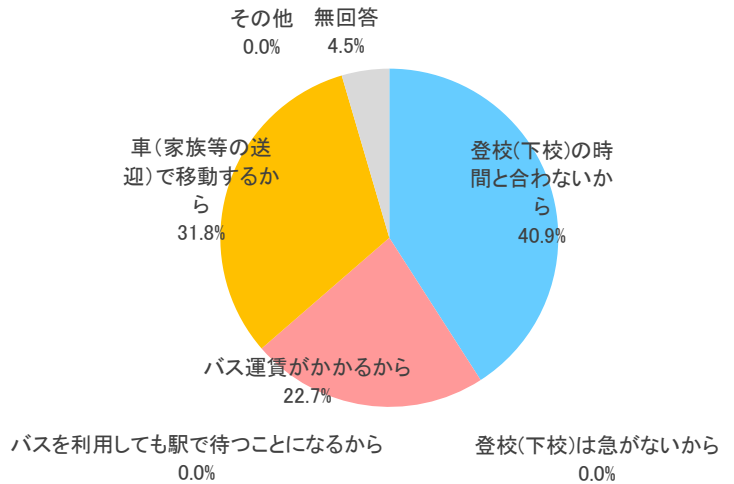
(1) 路線バス利用状況

(普段の登下校時に路線バスを利用 n=82)



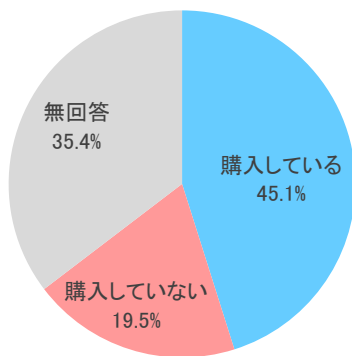
(2) 往復利用しない理由

(登校のみ・下校のみバス利用 n=22)



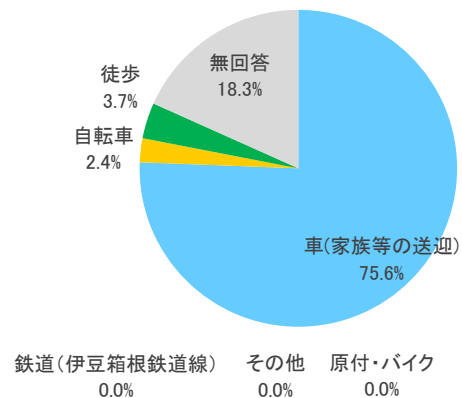
(3) 定期券購入状況

(普段の登下校時に路線バスを利用 n=82)

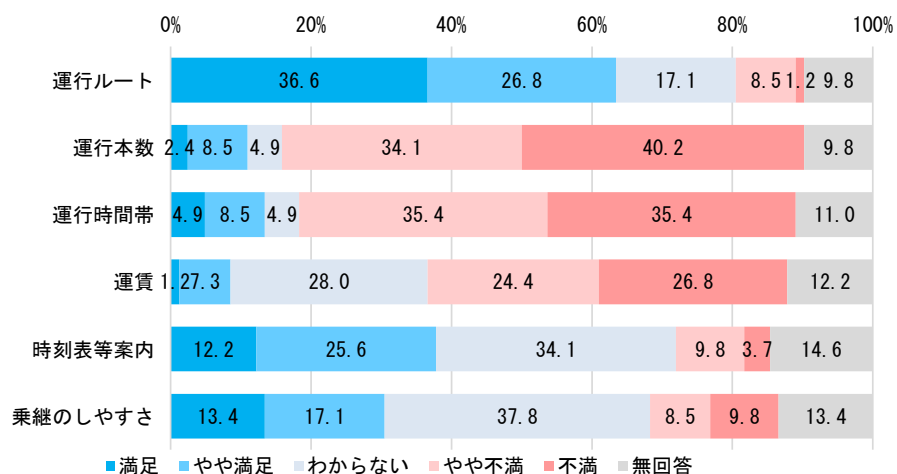


(4) バスを利用しない日の利用交通手段

(普段の登下校時に路線バスを利用 n=82)



(5) 運行サービス満足度(普段の登下校時に路線バスを利用 n=82)

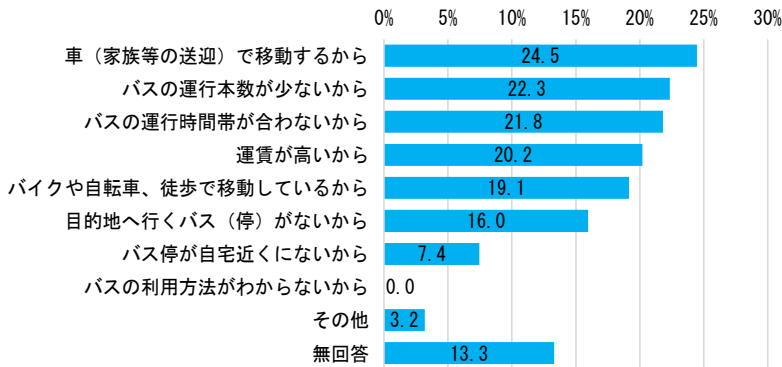


■路線バス非利用者の理由・意向

- ・バスを利用しない理由は「車(家族等の送迎)で移動するから」が最多、次いで運行本数、運行時間帯、運賃が主な理由となっている
- ・サービス改善した場合の利用意向では「わからない」の回答が最多、「利用する」が2割

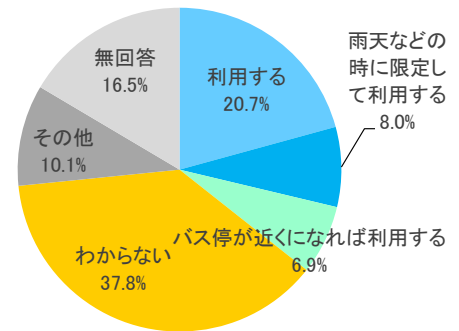
(1)バスを利用しない理由

(路線バス非利用者 n=188・2つまで回答)



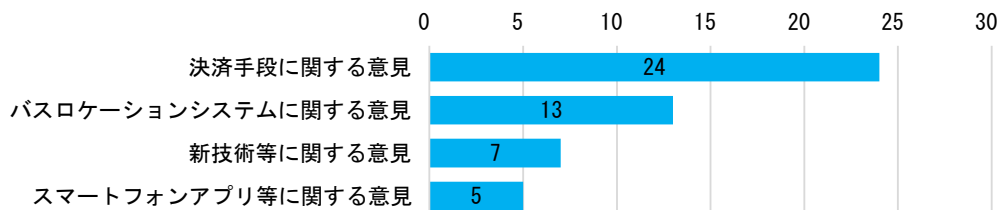
(2)サービス改善した場合の利用意向

(路線バス非利用者 n=188)



7-4.公共交通がもっと利用しやすくなるアイデア

(1)意見の種類(n=48)



(2)主な意見(抜粋)

決済手段に関する意見(n=24)

- ・電車でICカード使用できるようにする。バスでQRコード払い。市内一定料金化(先払いで乗り降り楽)
- ・モバイル決済も使えるようにする。(PayPay など)
- ・TOICA や Suica を導入してほしい。三島駅で北口と繋げられるから楽になる。
- ・定期をIC定期にしてほしい。
- ・営業所に行かなくてもネットから定期券購入ができるようになってほしいです。

バスロケーションシステムに関する意見(n=13)

- ・GPS によってバスの現在地また、到着予想時刻の検索できるアプリの導入。上記に加え、予定時刻と差が分かる機能の追加。
- ・もっと正確なバスの位置情報を教えてくれるアプリ。今のアプリは正確でなく、使えなくて意味がない。
- ・位置情報を利用しバスがどこを走っているか分かる。バスの時間は SNS 等で知れると良い。

新技術等に関する意見(n=7)

- ・通勤などで、車移動する方に相乗り(シェア)できるシステムが有ればと思います。
- ・アプリを作り、乗り合わせのように、タクシーぐらいの大きさを、路線をなくし、ルートを細かくし、目的地まで料金なども安くする。
- ・ダイヤ関係なく呼び出せば来る、小型かマイクロ 10 人乗りぐらい、お年寄りも送受信機をもてば呼べる。

スマートフォンアプリ等に関する意見(n=5)

- ・専用アプリを開くとすぐに時刻表を見ることができ、急な運休等も知ることができればよいと思う。
- ・遅延等の連絡をライン等ですぐに教えてもらえたら助かります。